

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社のコーポレート・ガバナンスは、社是「心」、「技」、「体」と企業理念の精神に基づき、倫理に適った企業活動を通じて、株主・顧客・従業員などの全てのステークホルダーから信頼される経営を目指し、また、持続的な成長と効率的かつ健全な経営による企業価値の向上を図ることを取り組みの基本的な考えにしております。

取締役会の実効性を高め、機能向上を図ることを目的とし、昨年に引き続き取締役会の実効性に関する分析・評価を行いましたので、その結果の概要等についてお知らせいたします。

なお、今回は実効性の分析をより高めるため、運営についての設問を3問追加しております。

1. 分析・評価の方法

社外を含む取締役及び監査役全員に対して、記名式の自己評価アンケートを実施し、各設問毎に5段階評価と自由記載欄を設け自己評価を行いました。

《アンケートの内容》

- (1) 取締役会の役割・機能について (5問)
- (2) 取締役会の規模・構成について (4問)
- (3) 取締役会の運営について (5問→8問)
- (4) 監査機関との連携について (4問)
- (5) 経営陣とのコミュニケーションについて (3問)
- (6) 株主・投資家との関係について (3問)
- (7) 自由記載欄 (4項目、特色・強み弱み、改善点、反省点、意見提言)

2. 分析・評価結果の概要

当社取締役会は、アンケートの分析結果及び取締役会での審議に基づき、取締役会の実効性が十分に確保できているものと分析・評価しております。前回の課題であった「後継者育成計画の具現化への取り組み」についてはコーポレートガバナンス・コードの改正に則り人材育成計画の幹部育成計画と組み合わせて「サクセッションプラン策定」に着手しております。

また、昨年実施したアンケート結果に比べて全体的に評価が改善しておりますが、今後改善する事項として以下の点を挙げております。

- (1) 株主との建設的な対話体制

3. 今後の対応について

今回の分析評価結果につきまして、株主・機関投資家との対話では個別対応は行っておりますが、より積極的な対話および情報発信に向けて、2019年度取締役会の運営課題として対応するとともに、2020中期経営計画の策定および経営戦略等の重要課題に対しても、引き続きより深い議論に努めてまいります。

また、当社取締役会は取締役会の更なる機能向上に向けて、今後も継続的に自己評価を行うとともに、アンケートの分析・評価方法の改善についても検討してまいります。

以上